

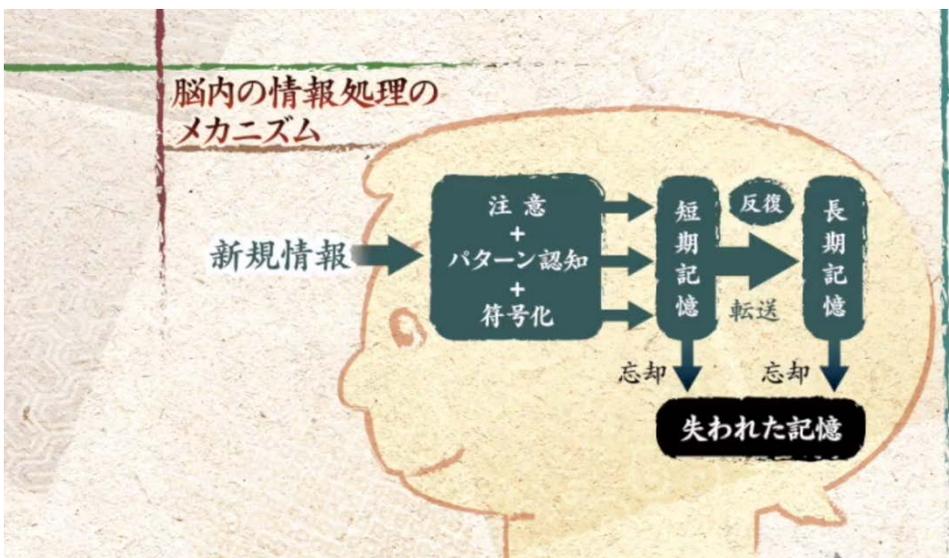
パート1. 講義法は時代遅れ？

- ・ 講義法は知識伝達には有効

講義法に関する先行研究の知見

目的	効果
情報伝達	○
思考力促進	△
態度変容	×
技能修得	×

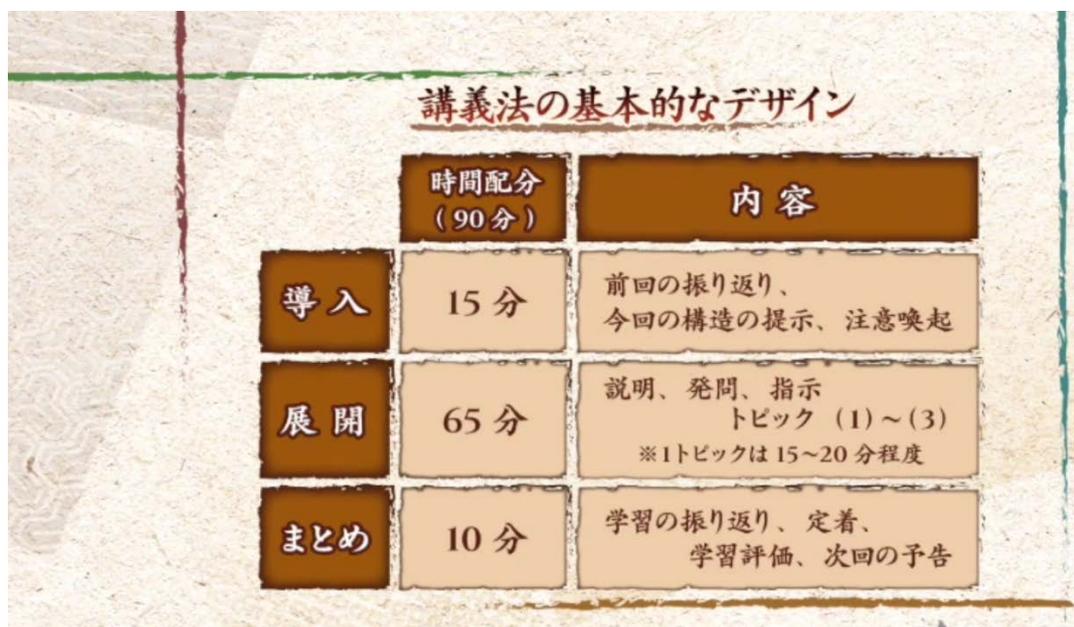
- ・ 学習とは既にある知識を元に新しい知識をアクティブに取り込むプロセス
- ・ 講義法の目的は長期記憶に情報をもたらすこと



- ・ 講義法の定義：
「学生が理解し記憶することを目的として教員が必要に応じて視聴覚メディアを使いながら口頭で知識を伝達する教育技法」
- ・ 講義法では教員の身体そのものがメディア

パート 2. 学生が寝ない授業にするには？

- ・ 授業は三部構成で



講義法の基本的なデザイン

	時間配分 (90分)	内容
導入	15分	前回の振り返り、 今回の構造の提示、注意喚起
展開	65分	説明、発問、指示 トピック (1)~(3) ※1トピックは15~20分程度
まとめ	10分	学習の振り返り、定着、 学習評価、次回の予告

- ・ 導入では前回の復習をすることで学習効果を高める
- ・ 授業は15分単位で区切る
- ・ トピックスは増やし過ぎず絞り込む

- ・ 違和感や矛盾は知的好奇心の喚起に有効
- ・ 7分に1回、変化を加える

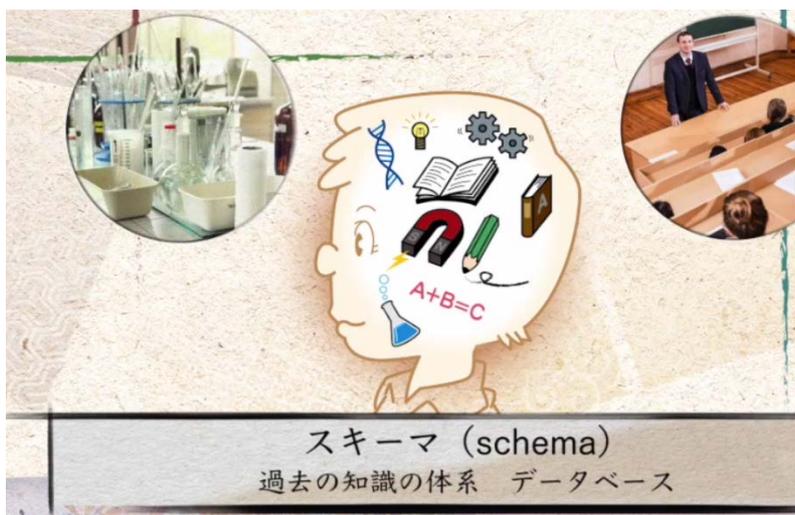


注意喚起の方法

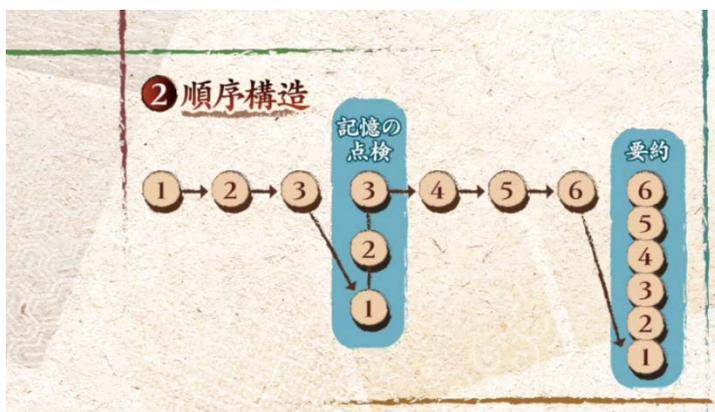
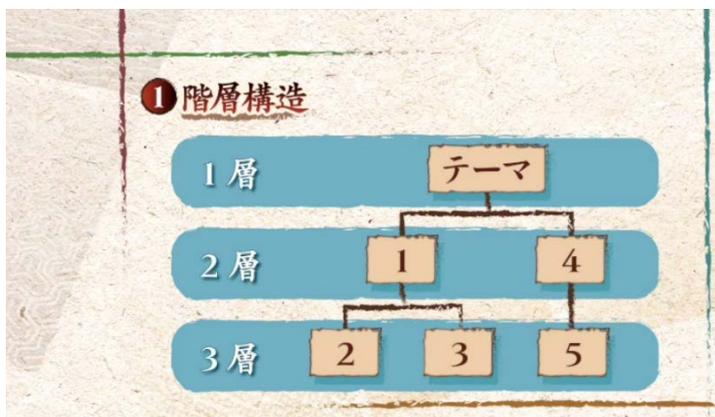
- 1 生理的喚起
- 2 認知的喚起
- 3 変化

パート3. わかりやすい授業にするには？

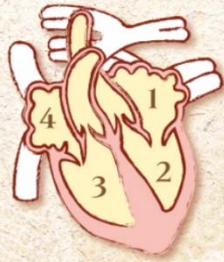
- ・ スキーマを呼び出しやすい授業を行う
- ・ スキーマは諸刃の剣でもある
- ・ 学生の持つスキーマの確認を



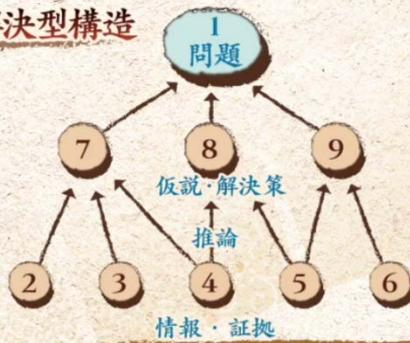
- ・ 授業の構造を示す



④ 空間・図形構造



⑤ 問題解決型構造



- ・ 構造を口頭で伝える

構造を口頭で説明する方法

- ① 方向指示 サインポスト
- ② 構造化 フレーム
- ③ 強調 フォーカス
- ④ 関連づけ リンク

パート 4. 記憶に残りやすく教えるには？

- ・ 情報はチャンク化して提示する
- ・ 内容は 4 つに整理する
- ・ 自我を関与させる



- ・ アクティブラーニングを取り入れる



- ・ 学習の形態を変えて繰り返す

講義法についてもっと学びたい人のための参考文献

- ① 佐藤浩章編 (2017) 『講義法 (シリーズ大学の教授法 第2巻)』 玉川大学出版部
…講義法のイロハを体系的に学べる。講義法で活用できる教材も豊富に掲載されている。
- ② スーザン・A・アンブローズ他 (2014) 『大学における「学びの場」づくりーよりよいティーチングのための7つの原理』 玉川大学出版部
…認知心理学の研究知見を大学の授業に活かす具体的な方法が学べる。
- ③ バーバラ・G・デイビス他 (1995) 『授業をどうする！ーカリフォルニア大学バークレー校の授業改善のためのアイデア集』 東海大学出版会
…バークレー校の教授たちによる、講義を良くするための様々な工夫が紹介されている。
- ④ エドワード・F・レディッシュ (2012) 『科学をどう教えるかーアメリカにおける新しい物理教育の実践』
…物理だけではなく、わかりにくい内容をどのようにわかりやすく教えるかについて学べる。